

総務常任委員会

委員長 市村 香 副委員長 大山和則
委員 相田一良・増田 豊・小林正紀・風野和規

市税の収納

歳入については、税収が厳しい中で歳入確保のため、職員による滞納整理や差し押さえ等により市税の収納について成果を上げているが、今後も茨城租税債権管理機構とも連携をして収納向上を目指し、財源確保に向けた取り組みを行っていただきたい。

防災行政無線

市民への防災情報や行政情報提供を行っているが、難聴地域があることから、その解消を図り防災行政無線の充実に努められるよう要望する。

国体について

今年9月に開催する国体リハーサル大会は、本大会同様の会場設備や運営体制が必要であることから、本大会と同程度の費用がかかるため、市にとって費用対効果が少しでも上がるよう、選手団の宿泊

や昼食等、市内業者の優先的な活用をしていただきたい。

公共交通

10月からのさくらがわ地域医療センター開院に合わせたバスの運行見直しにより、市民の利便性の向上を図るとともに、市民・来訪者の乗車率向上のため、バスのラッピングなどにより、だれもが愛着を持てるような工夫をして、さらなる利用促進に努めること。

国民健康保険税

平成30年度から国保の広域化により、茨城県国民健康保険事業として県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに運営していくことになるが、保険税の収納向上や医療費削減等に取り組み、健全な国保事業の運営を図ること。

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ所管の事案について審議しています。このページでは、その審議内容や各委員会の活動状況を報告します。

文

教厚生常任委員会

今号は文教厚生常任委員会に注目



鈴木裕一 委員長



谷田部由則 副委員長



林悦子 委員



高田重雄 委員



小高友徳 委員



菊池伸浩 委員

地域子育て支援

子育て支援の観点から小さな子ども連れが外遊びを楽しめるように、低年齢児用遊具が充実した施設整備や、おむつ替え、授乳ができる環境づくりをしていただきたい。

岩瀬東部認定子ども園

岩瀬東部認定こども園は、羽黒小学校敷地と隣接しているため、保護者の送迎時に非常に混雑している状況である。事故などないよう、送迎用の駐車場の確保をするよう要望する。

生活保護費

生活保護費は、近年、増加傾向にある医療扶助費の支給を、できるだけ抑制させるため、適正な生活保護制度の運営を図られたい。

桃山学園通学支援

真壁小学校と紫尾小学校の統合により、遠距離通学となる児童については、通学支援が行われている。支援の基準としては、桃山学園校門から半径2.5kmを超える位置に自宅のある1年生から3年生、そして、3.5kmを超える1年生から

6年生を対象にしており、南椎尾・酒寄地区からは桜川市バスを、亀熊地区からは一般のタクシー等を利用する内容で予算計上されているとの説明であった。通学支援については、一定の基準を設けて支援していくことに同意できるが、支援方法については、桜川市が運行するデマンドタクシーの利用や適切な大きさの車両を選択するなど、経費の削減に努められたい。

史跡等保存整備

本年度から5カ年の事業計画で、真壁城の堀、土塁、庭園や能舞台などの整備を行う真壁城跡保存整備事業の予算が計上されている。整備に当たっては、当時のものを復元し再構築するだけでなく、IT技術で景観を視聴させるなどの方法も検討していただきたい。また、これから地域振興の目玉となり、さらにはそれらを積極的に活用できるように事業を進めていただきたい。



保存整備が進む真壁城跡 (真壁町古城)

建設経済常任委員会

委員長 飯島重男 副委員長 萩原剛志
委員 増田 昇・潮田新正・仁平 実

商工観光支援

いばらきストーンフェスティバル及び桜川市大和(まほろば)の石まつりに関連する石材業については、市の基幹産業の1つでもあるので、新たな販路の拡大や公共事業等への地元石材の活用など、さらなる支援強化を求める。

キャンプ場運営

筑波高原キャンプ場については、施設の適切な活用と周辺環境の整備を要望し、上野沼やすらぎの里キャンプ場については、厳しい財政状況も勘案し、入場料を導入するなど、運営の見直しを図られたい。

有害鳥獣対策と特産品の販売

有害鳥獣対策事業については、引き続き、イノシシやハクビシン対策など、農業生産物被害防止対策の強化を図るよう要望する。また、大和駅北地区の

開発整備に関連して、設置が計画されている特産品等の販売施設においては、地域の農業者が恩恵を得られるよう、関係機関と連携した事業実施を図っていただきたい。

合併特例債新規事業

岩瀬工業団地進入路整備・上曾トンネル整備・通学路整備事業の予算を計上しているが、合併特例債の期限等を考慮し事業を計画的に進めていただきたい。特に通学路2路線の整備については、市民より強い要望の事業であり、通学する児童・生徒の安心・安全につながることから、早期の完成を目指し適切な予算執行を図られたい。

水道事業について

自然災害や漏水事故に対する備えとして、給水車を配備する必要性について検討を行うよう要望する。